

## 採択結果及び採択理由書

教科	美術
----	----

採択に付した教科用図書：3社（開隆堂、光村図書、日本文教出版）

### 【採択教科用図書】

発行者	発行者 番号	教科書の 記号・番号	教科書名
日本文教 出版	1 1 6	美術 7 0 3 8 0 3 8 0 4	美術 1 美術との出会い 美術 2・3 上 学びの実感と広がり 美術 2・3 下 学びの探究と未来

### 〔採択理由〕

「美術」3社の教科用図書は、学習指導要領の趣旨に基づき、美術科の目標達成に結び付く内容となるよう工夫されている。また、適正に作品や写真等が使用されており、作成手順がわかりやすく、見通しが持てるような構成となっており、いずれも質の高い仕上がりである。

とりわけ、「日本文教出版」の教科用図書は、指導要領の「学年に適した内容」に着目し、3冊構成となっており、上は2年、下は3年に適した内容とし、学年ごとで使用できる工夫がなされている。同世代生徒の作品や活動の写真、言葉などが多く提示されており、生徒にとって親しみやすく、主体的対話的で深い学びを展開しやすい。また、「学びを支える資料」には、表現とリンクした技法や、安全に配慮した記載が見られる。

全学年とも、SDGs や核兵器・震災などの社会問題と美術とのつながりを幅広い視点で捉えることができる内容となっている。また、ゴッホの筆触や現代美術、浮世絵、ジャポニズムを通じて絵画表現の変化等も詳しく説明もされており、生徒が興味を持つことができる資料が多い。

また、伝統工芸のほか、身近にある生活の中のデザイン等が掲載されており、学校生活において教科等横断して活用できる事例や題材が多く、生徒の学びの広がりや知識のつながりに配慮されている。

以上のことから、「美術」については、生徒が造形的な視点について理解する内容や美術や美術文化に対する見方や考え方を深めたりする内容が多く掲載されており、美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を想像していく学習を展開しやすい「日本文教出版」の教科用図書を採択する。